

京丹後市 商工会だより

Kyotango



協働・共感で響きあう
まちづくりをLEADする
京丹後市商工会

4
Vol.53

Kyotango City Society of Commerce & Industry

京丹後市商工会 〒627-0012 京都府京丹後市峰山町杉谷836-1

●TEL.0772-62-0342 ●FAX.0772-62-3553

●URL: <http://kyotango.kyoto-fsci.or.jp>

平成23年度

「意欲ある部会事業推進助成金」

当商工会では部会(業種別の内部組織)活動を積極的に推進し、会員個々の事業の活性化につなげることを目的に本助成金事業を実施しました。

なお、平成23年度につきましては24団体等に対して約498万円の助成金を交付しました。その支援事例の一部についてご紹介いたします。

活用事例
の紹介

京丹後市清掃業協会「循環型社会を考えるフォーラム開催事業」

循環型社会の構築を実現するために、とりわけ食品残渣(生ゴミ)の再生利用に主眼をおき、京丹後市民の環境に対する意識変革のきっかけとするために、フォーラムを開催しました。

- タイトル 「循環型社会 みんなで考える市民フォーラム」
開催日時 平成23年9月16日(金) 午後7時～午後8時30分
開催場所 京都府丹後文化会館
聴講人数 700名
内 容
①NPO法人エコネット丹後より活動報告
②基調講演
テーマ：生ごみ堆肥化とバイオガス発電
講 師：龍谷大学理工学部 環境ソリューション学科
教授 笠 文彦 氏
③パネルディスカッション
④「明日から始める循環ボランティア」コーナー



事業を実施した効果として、他の行政区が採用しているシステムを紹介し参考にするによって、もし京丹後市における生ゴミの循環等のしくみがきちんと確立されれば、家庭等から排出されるゴミの総重量が減少し、ゴミ回収業務のコスト削減にも繋がるなど現状よりもゴミ処分に関する負担が軽減されることがわかり、当協会が目指す京丹後市における生ゴミの循環・再生システムの構築に向けて前進できました。

平成24年度

京丹後市商工会

「意欲ある部会事業推進助成金」募集中です!

本会における部会活動は、部会組織の強化及び組織の事業活動を推進することによって、会員個々の事業の活性化が成果として実感できることを主眼としています。意欲ある部会事業推進助成金は、この部会事業を活性化し、複数の会員事業者及び既存の組合等が関わることによる相乗効果、また部会の枠を超えた異業種での取組みによる新たなビジネスの可能性や創出による業界の振興を期待するものです。厳しい地域経済状況の中での事業展開は、こうした複数の事業者の力を結集することによる新たな方向を模索することも大変重要な視点といえます。

以上の趣旨から、平成24年度においても以下のとおり「意欲ある部会事業推進助成金」事業を行います。

「意欲ある部会事業推進助成金」制度について(抜粋)

募集期間 平成24年4月2日(月)～5月15日(火)

事業期間 平成24年4月1日以降に開始する事業であり、原則として平成25年2月末日までに完了する事業であること。ただし、平成25年3月中に完了する事業の場合は申請書類にその理由を記載すること。

助成金の目的

- ①業界全体の振興と発展
- ②業界内部の意思統一と情報交換による組織強化
- ③新たな取り組み、事業への挑戦によるビジネスチャンスの創出
- ④商店街等まち(むら)の賑わい創出と活性化

以上により、地域振興及び部会活動の活性化に寄与することを目的とするものです。

【その他事項】

本助成金の詳細につきましては、2月中旬頃お届け済みのガイドライン(募集要領)、または京丹後市商工会のホームページでご確認ください。
(<http://kyotango.kyoto-fsci.or.jp/bukai/yousiki.doc>)



「知恵の経営実践モデル企業」に認証!

平成24年3月30日付で、京都府「知恵の経営実践モデル企業」に認証されました。

この「知恵の経営実践モデル企業」は、作成された「知恵の経営報告書」を京都府が評価・認証し、知恵の経営に積極的に取り組む企業を応援するために設けられた制度です。京丹後市商工会では、知恵の経営報告書作成支援を行っています。

知恵の
経営報告書
とは?

(有)丹後ジャージー牧場

京丹後市久美浜町
TEL0772-83-1617

作成目的 事業承継者・社員と経営理念の根本を共有し続ける

知的資産 立地環境、商品改善力、一貫生産、原料調達ネットワーク
人的ネットワーク力、商品企画開発力、生乳生産力、搾乳
量確保力、近隣住民との関係…など

コメント

本報告書は、事業承継者・社員に対して経営理念の根本にある考え方や、様々な人の助言や支え、地域住民の協力・理解等があったこそ、創業以来ずっと成長を続けてこれたことに感謝し、そういった思いなどを今後共有し続けることを目的に作成しました。報告書の作成過程において、強みや、経営課題の整理を行い、「お客様へどんな価値を提供し、喜んでもらうのか」を再度見つめ直すことができました。今後とも牛乳の美味しさを伝え続けることを使命とし、末永く愛されるように歩んでまいります。



▲京都府からの
認証書

京都府商工観光部長から
認証書交付▼



企業が自ら保有する「無形の強み」の内容を明らかにし、それらをどのように活用して差別化や価値創造につなげていくかを、企業の利害関係者に示す報告書のこと。新たな経営手法として有効に活用され始めています。企業の取り組みの将来性や実現可能性を具体的に説明できるため、効果的に活用できる経営報告書です。

商工会では、知恵の経営報告書作成支援をはじめとした様々な支援を通して、より深い支援体制の構築と支援技術の向上を進めております。

販路開拓
報告

機械金属業部会視察研修事業

◆開催日…平成24年3月15日(木)・16日(金)

◆研修先…株式会社森精機製作所・伊那食品工業株式会社

◆参加者…18名

タイの洪水等の間接被害、止まらない円高、アジア振興国への産業流出等々、我々国内ものづくり企業を取り巻く経営環境は大変厳しく、我々経営者は、今後の自社の事業ドメインをどう定めていくか、本当に難しい舵取りに迫られています。

そのような中、機械金属業部会では、日系工作機械大手メーカーの「株式会社森精機製作所」を訪問し、最新の工作機械の技術レベルや、先行指標のひとつであります工作機械の受注動向等を伺い、自社の技術力の向上、販路開拓などのヒントを頂くと共に、サプライヤーの条件(発注を頂く為の条件)等についてお話を伺って参りました。

また、経営基盤の強化を目的に、中小・中堅企業の優れた経営者を表彰する「優秀経営者顕彰制度(日刊工業新聞社)」の最高賞「最優秀経営者賞」受賞企業である「伊那食品工業株式会社」を訪れ、その経営理念と経営手法について学んで参りました。

必ずや経営に活かして頂ける研修事業となったと思います。

